

学校運営協議会会議録

学校名 杉並区立高井戸中学校

記録者 行定 多喜子

開催日時	令和8年2月18日(水)10時00分～11時20分
開催場所	高井戸中学校 多目的室
出席者(委員)	隅田校長、武井会長、渡辺委員、澤津委員、小林委員、安藤委員、本郷委員 櫻井委員、広瀬委員、赤井委員、行定委員
出席者(学校)	西尾副校長
傍聴者人数	0人

会議内容(次第順)
【報告事項】 ①校長挨拶 ②武井会長挨拶 ③議事 ④その他
【協議事項】 ○学校関係者評価のまとめ ○次年度の教育課程の承認
主な意見
【報告事項】 2年生はスキー教室が終了、3年生は50名弱がこれから都立高校を受験する。インフルエンザの流行などもあり、朝礼等は3年生だけオンラインで参加している。
【協議事項】 【学校関係者評価のまとめ】 【校長より】 今回の学校評価の結果を受けて感じたことは、主体的な学びが十分に行われていない、生徒が受け身の授業になっているということである。今後の方向性として、生徒が学び方を自ら選択できるなど、生徒へのアプローチを改めて考え直すべきと思っている。
【委員より】 レベルごとに分けて学習するのは一つの方法である。先輩である大学生など異学年・異年齢との交流を図るのもよい方法である。小中をまとめた9年間で進めている学校もあるが、いじめが発生すると逃げ場がなく、とても難しい部分があると聞いている。PCで画面を見ながら説明を聞き、それでも分からないところは細かく聞くという学習もあり得る。例えば区や都でそのような学習スタイルを作成し生徒がタブレットなどで学習できるようにする、教科内で単元の担当を決めて担当を中心に学習を進め他の教員はサポートに回るなどの手立てをとることで、教員の負担感が減ると思う。

【教育課程】

【校長より】授業改善の他、アンネのバラの取り組みを平和や人権、またキャリアガイダンスとしても生かしていけるように内容を改善した。教育委員会から教員の時間外残業を45時間まで、国は30時間までという指導がある中、意図的に進めないと減らすことは難しいと感じている。全体的に祝日のない6月の残業が多い傾向がある。授業日を減らすことが一番の方法かもしれない。

【委員より】あえて6月に宿泊行事を入れる学校もあると聞いている。分掌が12もあるので減らすことで教員の負担感が減るのではないか。1クラス35人体制になれば教員が増えるのではないかと。早く退勤することを推奨するのはよいが、家に仕事を持ち帰ったら意味がない。減らせるものは何かを考えることは大切だが、教材研究の時間も必要である。

次回の会議日程

日時	なし
会場	なし